

心房細動

医師会員限定動画

超高齢の心房細動患者がみられたら



10:32



注目動画1

- POINT 1 抗凝固療法を“中止”した場合の「脳梗塞リスク」をイメージ
- POINT 2 超高齢心房細動患者の「栄養状態」から、出血リスクを評価
- POINT 3 日本の高齢患者さんに対しエビデンスをもつ抗凝固薬の選択



心臓血管研究所 所長
山下 武志 先生

日々の診療で、ちょっと「気になる」患者さんがいらしたり、今後の対応に少し悩まれたりすることはありませんか？この動画では、87歳で初めて心房細動と診断され、超高齢ながらも抗凝固療法が開始された心房細動患者さんという具体的な症例から、心臓血管研究所の山下武志先生の解説のもとで日常診療の中で注意すべき点を解説いただいておりますので、是非ご視聴ください。

提供：第一三共株式会社

肺NTM症

増え続ける肺NTM症とは～疫学・診断・自然経過～



Part1 8:42

Part2 7:51



注目動画2

- POINT 1 肺NTM症の罹患率および死亡数の推移
- POINT 2 肺NTM症に罹患しやすい患者像とは
- POINT 3 治療反応に影響するポイントとは

肺非結核菌抗酸菌症(肺NTM症)は2014年に初めて結核の罹患率を超え、2022年時点では結核の3倍を超えていると推測されています。近年の研究データから見る罹患しやすい方の特徴や、肺NTM症の大多数を占める肺MAC症の自然経過と治療導入すべき症例の判断について、詳細に解説されています。

複十字病院 呼吸器センター 医長

森本 耕三 先生

●専門分野
非結核性抗酸菌症、気管支拡張症、線毛機能不全症候群



新機能

各企業のWEB講演会が検索できる

イベントカレンダーページ
ができました!



☑ 日付で検索

☑ 診療領域で検索

☑ フリーワード検索

「イベントカレンダー」
Click!!



▲イベントカレンダーはこちら▲